

# 「オイル供給不足・油膜切れ」によるターボの損傷

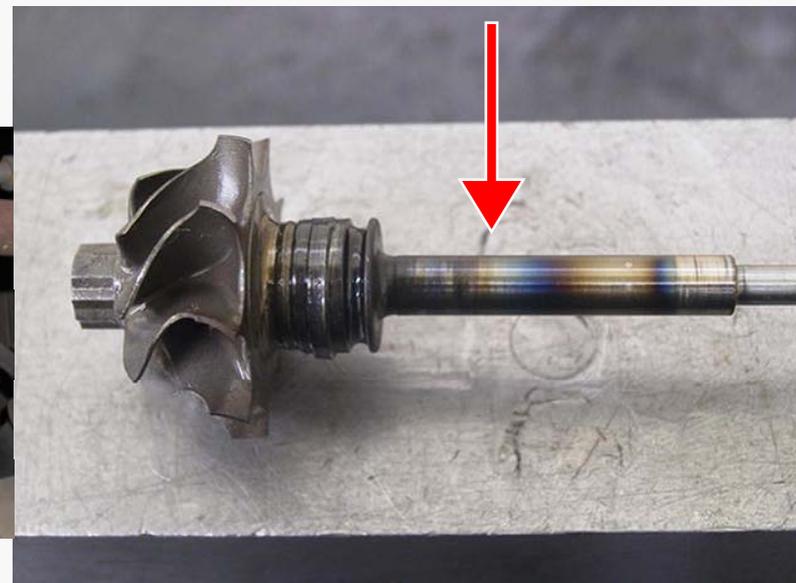


エンジンからのオイル供給不足等により、一時的にでもベアリングの油膜が切れると、超高速で回転しているローターシャフトはベアリングと接触し焼き付いてしまう。この場合 ベアリングとの摩擦熱により、証拠となる紫色(テンパーカラー)がローターシャフトに残る (写真1) のが特徴である。オイル潤滑ラインの清掃が必須です。

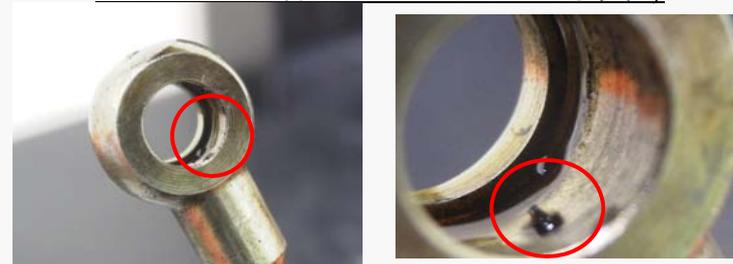
## ★油膜切れを引き起こす主な原因★

- ①給油パイプ・ユニオンボルトガスラッジにより詰まっている(排気マニホールドの熱の影響を受け、エンジン停止後オイルパイプ内に残留したオイルが焼かれスラッジを生成) (写真2)
- ②ターボ内に十分なオイルが行き渡らない状態で急加速した(特にターボ取付け直後は注意)
- ③エンジンオイル量の不足 オイルストレーナーの詰り(写真3)
- ④オイルポンプ不良による油圧の低下

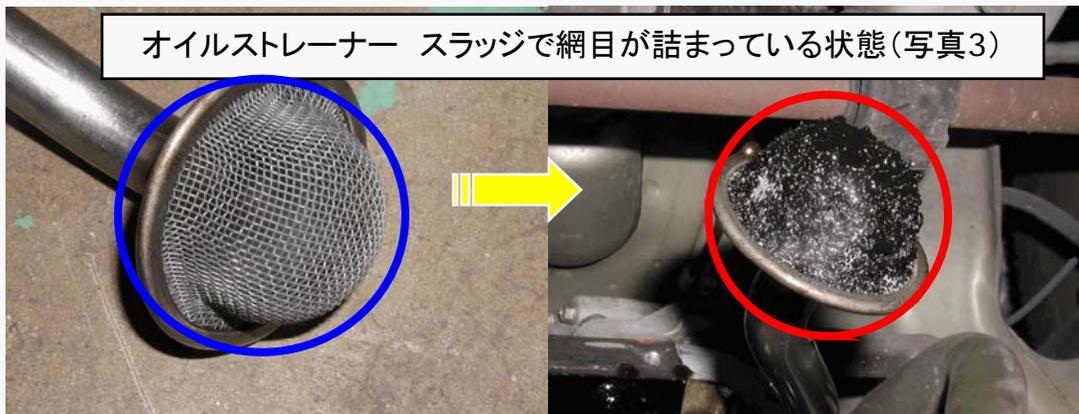
熱変色したローターシャフト (写真1)



オイルパイプに詰まったスラッジ(写真2)



オイルストレーナー スラッジで網目が詰まっている状態(写真3)



ユニオンボルトのメッシュに詰まったスラッジ(写真2)

